

対象国の条件:

研修コース番号:201984664-J002

案件番号:201984664

主分野課題:民間セクター開発/観光

副分野課題:

使用言語:英語

**案件概要**

地域経済活性化には、住民がより豊かな生活を享受できる地域振興施策としての「観光誘致」が不可欠である。観光客へ各地域の観光資源の魅力を提供する「観光地域づくり」の取組が求められる。一方、その地域づくりに取組む中核人材育成や、関係者間の連携が十分でなく、成果に結びついていない地域が散見される。本研修では、海外からの観光客数が急増する日本の観光地域づくり、その中核人材育成の取組を実践的に学ぶ機会を提供する。

**目標/成果**

**対象組織/人材**

**【案件目標】**

研修に参加した観光庁・自治体観光課職員、観光協会関係者等が、地域の特性を活かした持続可能な観光開発の中核となる人材育成について学び、日本の「おもてなし」を体感する中で、自国の実情に沿ったアクションプランを策定し、自国で関係機関に説明、実際に活用する。

**【対象組織】**

観光振興を推進する関連省庁、地方自治体またはその外郭団体

**【成果】**

1. 自国の観光地域づくりとそれを主導する人材育成について、現状と課題を認識し、分析する。
2. 日本の観光地域づくりに関する国及び地方自治体の政策、法制度及び教育制度を基に、自国の状況と比較検討を行う。
3. 国レベル、地方自治体レベルの観光人材育成プログラムを基に、自国の状況と比較検討を行う
4. 持続可能な地域観光開発を担う人材及び組織形成について講義と顧客体験を通じて考察する。
5. 自国で実現可能な観光地域づくり及びそれを担う人材の育成に関するアクションプランを策定する。

**【対象人材】**

1. 地域観光振興を推進する関連省庁・自治体関係課の職員で、地域観光経営に携わり、地域づくりを行う人材育成の計画を作成し、実施を担当するもの。
2. 所属組織での経験年数5年以上。

**内 容**

**【事前活動】**

・自国の観光開発とそれを主導する人材の育成手法について、現状と問題点についてカントリーレポートを作成する。

**【本邦研修】**

- ・カントリーレポート発表会をつうじて、他国の現状と比較し、自国の状況や問題点を理解する。
- ・日本の観光地域づくりに関する国及び地方自治体の政策、法制度について学習し、その実施手法や自国への適応策などを考察する。
- ・日本の観光地域づくりの現場で観光開発の正・負の事例を視察し、持続可能観光開発について考察する。
- ・日本の地方創生の施策を利用し活躍する人材を訪問し、その実務や観光地域づくりの具体的な手法について学習し、自国への適応策などを考察する。
- ・制限された環境下での地域観光経営の現場を視察し自国への適応策などを考察する。
- ・日本の様々な観光産業における顧客体験プログラムを通じて「おもてなし」を体感することで、観光人材に必要とされる素養について自国と比較検討し、適応策を考察する。
- ・自国で実現可能な観光地域づくり及びそれを担う人材の育成に関するアクションプランを策定する。

**【事後研修】**

- ・関係者に対する帰国報告会の実施、本邦研修で作成したアクションプランの修正、組織内承認、実践。
- ・実践レポートの作成

**本邦研修期間**

2019/6/11~2019/7/18

**担当課題部**

産業開発・公共政策部

**所管国内機関**

JICA関西（業務一）

**関係省庁**

**実施年度**

2019~2021

**主要協力機関**

調整中

**特記事項  
及び  
ホームページ**

【太平洋人材交流センター-PREX】  
<http://www.prex-hrd.or.jp>